

# 埼玉の文化遺産

埼玉県の遺跡と出土品の情報誌

No. 64

特集

## さいたまの中世遺跡

滝の城跡「所沢市」  
忍城跡「行田市」  
河越館跡「川越市」  
塚田遺跡「寄居町」  
城山遺跡「志木市」  
北尾崎北遺跡「羽生市」

羽生市 北尾崎北遺跡(空撮)

さいたま発掘情報 (2020年1月~12月)

令和二年度文化財収蔵施設 新収蔵資料

収蔵埋蔵文化財保存活用事業「学習用キット」

まいぶん探訪 本庄早稲田の杜ミュージアム

監修/発行 埼玉県教育委員会  
企画/編集 公益財団法人埼玉県埋蔵文化財調査事業団



埼玉県マスコット「コバトン」「さいたまっち」





築城に伴う地鎮祭祀跡を発見 /

# 所沢市 滝の城跡



二の郭北部調査区全景

滝の城は、<sup>あずま</sup>東川と柳瀬川の合流点に築かれた多郭式の平山城です。

滝の城跡からは、障子堀や四脚門跡、大井戸跡、中堀などが発見されています。その他に、二の郭からは土坑が発見されました。この土坑からは15世紀のかわらけや、ノコギリ、貝殻が出土しました。この遺構は、二の郭の造成前に掘り、遺物を埋納したのち、すぐに埋め戻していること、四方に柱穴があること、大工道具が出土していること等から、築城に伴う地鎮祭祀跡と考えられています。



ノコギリ



二の郭北部地鎮祭的土坑



ノコギリ出土状況



滝の城跡 縄張り図



地鎮祭的土坑  
かわらけ出土状況



中世の遺構・遺物を大量に発見 /

# 行田市 忍城跡

忍城跡は、北は利根川、南は荒川に挟まれた低湿地帯に位置しています。忍城の築城は、15世紀後半とされています。しかし、中世の忍城について書かれた文献はほとんどなく、この時代の忍城については不明な点が多くあります。

今回の13次調査では、中世の堀跡が発見されました。堀跡からは、15世紀後半から16世紀前半のかわらけや、常滑焼の甕、在地産のすり鉢などが多く出土しています。忍城跡では、中世の遺構や遺物がまとまって発見されることは珍しく、これらは中世の忍城について解明するための大変貴重な資料となります。



堀跡全景



かわらけ



遺物出土状況



内耳土器など



漆器



かわらけ・すり鉢

中世の館を掘る /

川越市 <sup>かわごえ</sup> <sup>やかた</sup> **河越館跡**

河越館跡は東に入間川、西に鎌倉街道を至近に臨む、水陸の交通が交わる要衝に立地しています。

河越氏がこの地に館を構えていた時期の遺構は、屋敷を区画するための堀や、区画内部にある井戸、掘立てばしらたてものあと <sup>れいびょう</sup>、掘立柱建物跡、霊廟と考えられる塚です。これらの遺構からは、手づくねかわらけや中国製の青磁・白磁、火を受け変色した軒丸瓦等が出土しています。出土した中国製の青磁・白磁は、たいへん質が良く、河越氏が強大な権力を持っていたことがわかります。

河越氏がこの地を離れたあとも、この地は寺院の境内、合戦時の陣所等として利用されていたことが今までの調査でわかりました。



河越館跡空撮



中国製の青磁・白磁



被熱し変形した軒丸瓦



葺き石の盛土を伴う塚（霊廟か）

掘立柱建物跡



鑄物師集落を掘る /

寄居町 <sup>つかだ</sup> **塚田遺跡**

塚田遺跡は吉野川によって浸食された中洲状の微高地に位置しています。中世の鎌倉街道筋に面した集落の一角にあり、かつては「塚田千軒」と称された、鑄物師集落の伝承が残っています。

今回の調査により、中世の溝跡が発見されました。溝跡からは、鉄くずや鱧口の鑄型等が出土しました。これらの発見により、当該地域で鑄物師集団の存在が初めて立証されました。また、梵鐘の撞座と推定される鑄型も出土しており、仏具関係の鑄造が行われていたと考えられます。



1次完掘状況全体（北東から）



梵鐘の撞座鑄型

撞座：梵鐘を鳴らすときに棒が当たる部分の名称。



鱧口の鑄型

鱧口：仏堂や神社本殿の前に掛け、つるした綱で打ち鳴らす道具。



遺物出土状況（東から）



遺物出土状況（西から）



幻の鑄造遺跡を発見 /

## 志木市 城山遺跡 第89地点



調査区全景

城山遺跡は柳瀬川を望む台地上に位置しています。この遺跡からは、鑄型や鉄くずなどの多量の鑄造関連遺物が出土しました。そのため、この遺跡は「捨て場」と考えられています。鉄鍋の鑄型が出土していることから、鉄鍋の生産が集中的に行われていたと思われます。

これらを残した鑄物師は、志木市の古い文献にも登場しないため、「幻の鑄物師」と言えます。これらの鑄造関連の資料は、志木市における鑄物生産の実態を解明するためのたいへん貴重な資料です。



鉄鍋の鑄型



三叉状土製品



鍋の耳の鑄型



中世の集石遺構を発見 /

## 羽生市 北尾崎北遺跡



集石遺構

北尾崎北遺跡は羽生市の利根川右岸の自然堤防上に立地しています。

調査によって、建物跡や土壇、石組み井戸跡、溝跡、墓跡、茶毘跡、集石遺構が検出されました。石を組みあげた井戸跡は、中世以降全国各地で見られますが、羽生地域では珍しい発見です。

集石遺構は墓と考えられ、光明真言という密教の真言が刻まれた板石塔婆が出土しました。火葬骨を納めた蔵骨器も近くから出土しています。また集石遺構を中心にして複数の穴が掘られていて、そのいずれにも火葬骨が埋葬されていました。その他にも陶磁器類、かわらけ、内耳鍋等が出土しています。いずれも中世の生活を知るうえで貴重な資料です。



茶毘跡

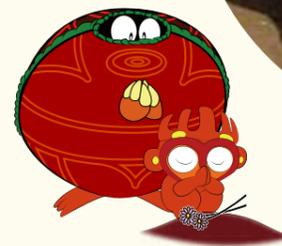


集石遺構出土板石塔婆



蔵骨器と火葬骨

石組み井戸跡



**土偶発見!**

① **真福寺貝塚** (さいたま市)

遺跡は大宮台地の岩槻支台にある、縄文時代後期前葉から晩期中葉にかけての集落遺跡です。昭和50年に国の史跡に指定されており、史跡整備に向けて内容確認調査を平成28年度から継続して行っています。

昨年度から史跡西側の窪地内と谷部周辺の調査を開始しました。窪地内からは晩期中葉の遺物集中地点を検出しました。そして谷の斜面部では、後期後葉から晩期前葉の遺物を多量に含む斜面堆積層が厚く堆積し、谷を埋積している様相を確認しました。

来年度も引き続き谷部周辺と、新たに泥炭層地点の調査を実施する予定です。

調査機関・文：さいたま市教育委員会

北側調査区



北側谷部  
土偶出土状況

南側谷部遺物出土状況

2020年1月~12月

**さいたま発掘情報**



遺物出土状況



調査風景



障子堀検出状況



調査機関・文：伊奈町教育委員会

**縄文時代の住居跡を掘る**

② **平塚遺跡 第24地点** (富士見市)

平塚遺跡は、北東に荒川低地を望む、武蔵野台地縁辺部に位置しています。過去の調査において、縄文時代早期の炉穴、縄文時代前期の住居跡、平安時代・中世以降の溝跡などが確認されています。

令和2年4月~5月に行われた、平塚遺跡第24地点での調査では、縄文時代早期と思われる炉穴1基、縄文時代前期の住居跡1軒、平安時代の住居跡1軒などが新たに確認されました。縄文時代前期の住居は長軸約8.5m、隅丸方形を呈する大型のもので、関山I式土器、玦状耳飾などが出土しました。

調査機関・文：富士見市教育委員会



炉穴



縄文住居



平安住居



調査風景



玦状耳飾出土状況

**縄文時代の墓域を掘る**

④ **富田庚申塚遺跡** (寄居町)

遺跡は荒川右岸の江南台地上に位置します。今回の調査では、平安時代の竪穴住居跡が2軒見つかった他、縄文時代後期初頭~前葉(約4000年前)の墓域が確認されました。

墓域は、長方形の土壇と、円形の土壇で構成されています。

長方形の土壇はタテ約2m×ヨコ約1mの大きさで、軸をそろえて列状に並んでいます。また円形の土壇からは大量の土器とともに、長軸に貫通孔をもつ土製品が1点出土しました。このタイプの土製品は全国的にも数が少なく、遺構に伴った状態で出土したのは今回が初となります。

富田庚申塚遺跡では、未だ縄文時代の集落跡は見つかっておらず、墓域をつくった人々がどこに住んでいたかはよく分かっていません。

調査機関・文：(公財) 埼玉県埋蔵文化財調査事業団



空から見た富田庚申塚遺跡



出土した土製品



円形土壇の完掘状況



縄文時代後期初頭~前葉の墓域



円形土壇  
遺物出土状況

# 令和二年度 文化財収蔵施設 新収蔵資料

埼玉県文化財収蔵施設には、県内各地の発掘調査で出土した資料が40万点以上収蔵されています。発掘調査で見つかった資料は、報告書刊行が終了すると文化財収蔵施設に収蔵され、学校教育、生涯学習、博物館等、様々な場での活用が図られています。

事業団報告書  
第四五八集

栗橋宿跡Ⅳ

茶甕ちやがめ

展開写真



高さ 77.6 cm

写真は、栗橋宿跡から出土した、茶葉を運搬・保存するための容器です。この茶甕は信楽系の陶器で、内面に光沢のある柿釉かきゆうが刷毛塗状に施釉されています。判読はできていませんが、外面には墨で書かれた文字が見られます。口径 25.3cm、高さ 77.6cm、底径 20.4cm と大型で、破片の出土はしばしば見られますが、全体を復元できる例は極めて稀少です。



お... 大きいっ!!

事業団マスコット  
「はーとん&のっそりー」

埼玉県収蔵埋蔵文化財保存活用業務委託（普及事業）

## 土器・石器・埴輪 学習用キット 無料貸出サービス

学習用キットは、埼玉県内で発掘された実物の埋蔵文化財(土器・石器・埴輪など)を使って郷土の学習をより深めるための貸出教材です。

学習の目的に合わせて時代や地域などの多様なセットから選べます。



キット内容について詳しくはこちら

貸出についての問い合わせ

(公財)埼玉県埋蔵文化財調査事業団  
埼玉県熊谷市船木台4丁目4-1  
0493-39-5346 (資料活用部)



### 地域別セット

各市町村の遺跡ごとのセットになっています。東部・西部・南部(さいたま市含む)・北部の教育事務所に対応しています。

- ・東部 (24 セット)
- ・西部 (45 セット)
- ・南部 (29 セット)
- ・北部 (40 セット)



西部 12 (駒堀遺跡)



東部 17 (小沼耕地遺跡)



北部 14 (広木上宿遺跡)

### 時代別セット

各時代の特徴的な土器などが時代別にセットになっています。

- ・旧石器時代 (2 セット)
- ・縄文時代 (2 セット)
- ・弥生時代 (3 セット)
- ・古墳時代 (4 セット)
- ・奈良時代 (2 セット)
- ・平安時代 (2 セット)



縄文時代①



奈良時代①



旧石器時代②

### テーマ別セット

道具の種類や使われ方ごとにセットになっています。

- ・祭祀セット (1 セット)  
まつりやまじないの道具
- ・葬送儀礼セット (1 セット)  
古墳に並べられた埴輪など
- ・装身具セット (2 セット)  
耳飾りや首飾りなど



葬送儀礼セット



装身具セット

### 体験別セット

4種類の体験セットをご用意しています。用途に合わせてご利用ください。

火おこし



黒曜石



文様つけ



拓本



# まいぶん探訪

## 本庄早稲田の杜ミュージアム

本庄早稲田の杜ミュージアムは、市と大学が連携して運営している博物館です。地域文化の拠点として本庄市の歴史と文化の魅力を発信するため、令和2年10月15日、早稲田大学本庄キャンパス内に開館しました。

展示室は3つのエリアにわかれており、「埴輪の世界」エリアでは、本庄市内で出土した埴輪が展示されています。「本庄の歩み」エリアでは、旧石器から中世までの資料が展示されており、本庄市の歴史を辿ることができます。「早稲田大学展示室」エリアでは、早稲田大学所蔵の文化財を用いた企画展示が定期的に行われています。



館内の様子

### 展示室の様子



企画展示  
「早稲田大学展示室」エリア



常設展示  
「埴輪の世界」エリア

常設展示  
「本庄の歩み」エリア



見学風景



## 本庄早稲田の杜ミュージアムのご案内



- 住所 〒367-0035 本庄市西富田 1011  
早稲田リサーチパーク・コミュニケーションセンター(早稲田大学 93 号館) 1F
- 開館時間 午前9時から午後4時30分
- 休館日 月曜日(休日の場合は翌日)・年末年始(12月28日から1月3日)
- 入館料 無料
- 交通案内 新幹線：JR 上越・北陸新幹線 本庄早稲田駅南口から徒歩3分  
電車：JR 高崎線 本庄駅南口からはにぼんシャトル(所要時間13分)「本庄早稲田駅北口」下車 徒歩5分  
自動車：関越自動車道 本庄児玉 IC から5分 無料駐車場あり
- 電話 0495-71-6878
- E-mail hwmm@city.honjo.lg.jp

